

市町村国民健康保険（平成30年4月以降は都道府県等が行う国民健康保険）、全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）、組合管掌健康保険（組合健保）、共済組合を比較した次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 平成29年度において、加入者1人当たりの医療費が最も高いのは市町村国民健康保険であった。
- イ. 平成29年度において、加入者1人当たりの平均保険料が最も低いのは共済組合であった。
- ウ. 平成29年度において、加入者の平均年齢が最も高いのは組合健保であった。
- エ. 平成30年3月末現在、加入者数が最も多いのは協会けんぽであった。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. ウ, エ

〔正答番号〕 1 2 4 5

児童自立支援施設に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。  
それらはどれか。

- ア. 現在の児童自立支援施設の原型となっているのは、石井亮一により設立された感化院である。
- イ. 児童自立支援施設は、都道府県に設置が義務付けられている。
- ウ. 児童自立支援施設には、看護師及び心理療法担当職員の配置が義務付けられている。
- エ. 家庭裁判所の審判に付された少年は、保護処分として児童自立支援施設に送致される場合がある。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

〔正答番号〕 1 2 3 4

民間企業における障害者雇用に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。なお、民間企業の障害者雇用の動向については、「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」に基づくものとする。

- ア. 民間企業における法定雇用率は2023年4月現在、2.3%である。
- イ. 民間企業の8割が法定雇用率を達成している。
- ウ. 民間企業に雇用されている障害者数は100万人を超えている。
- エ. 民間企業で雇用されている障害者について障害種別にみると、身体障害者が最も多い。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

〔正答番号〕 1 2 4 5

子どもの福祉のための養子縁組制度である特別養子縁組制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 特別養子縁組は、養親となる者と養子となる者の同意により成立する。
2. 特別養子縁組が成立するには、養子となる者が6歳未満でなければならない。
3. 養親となる者は、養子となる者と30歳以上の年齢差がなければならない。
4. 縁組の成立により、原則として養子と実父母との親族関係は終了する。
5. 縁組の成立後は、いかなる理由があっても離縁することは認められない。

〔正答番号〕 1 2 3 5

「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年2月1日現在）」にみる社会的養護の状況に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 里親委託となった児童の委託経路をみると、「児童養護施設から」が最も多く、次いで「家庭から」、「乳児院から」の順となっている。
2. 児童自立支援施設における入所児童の就学状況をみると、「小学校高学年」が最も多く、次いで「小学校低学年」、「中学校」の順となっている。
3. 乳児院の入所児童のうち、被虐待経験のある児童が受けた虐待の種類をみると、「身体的虐待」が最も多く、次いで「心理的虐待」、「ネグレクト」の順となっている。
4. 児童養護施設の入所時の児童の保護者の状況をみると、「両親ともいない」が最も多い。
5. 母子生活支援施設への入所理由をみると、「配偶者からの暴力」が最も多い。

〔正答番号〕 1 2 3 4

リッツァの「マクドナルド化」論に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. マクドナルド化とは、マクドナルドに代表されるファスト・フード店が世界中で店舗数を増やしている現象のことであり、専ら外食産業で起きている事態を表す概念である。
- イ. マクドナルド化が進むことで、同質的な人々が結び付く機械的連帯から、異質な他者が相互依存的に結び付く有機的連帯へと、人々の連帯のあり方が変化する。
- ウ. マクドナルド化が進む過程では、効率性を高めるために、合理化が徹底されていくが、そのことはときに非合理的な帰結をもたらす。
- エ. マクドナルド化が進むと、マニュアルに沿って働くのではなく、個々の従業員の自由な発想に基づく創造的な働き方が奨励される。
- オ. マクドナルド化の否定的な影響の一つは、それが顧客や従業員の脱人間化をもたらすことである。

- 1. ア, イ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ

〔正答番号〕 1 2 3 4

社会学の調査手法や分析手法に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ライフヒストリー研究は、エスノメソドロジー研究の一環としてサックスらによって始められた、相互行為が織りなす社会秩序を研究する領域である。分析に当たっては、人々の発話や身体動作を文字化したデータを用いることが多い。
2. 会話分析は、インフォーマントとなる個人又は集団の生活や経験を社会的背景や事象と結び付けながら分析し、その人生全体や人生の一時期を再構築し、社会的文脈に位置付けながら描き出そうとする手法である。
3. アクションリサーチは、1960年代の実証主義批判の中で、社会科学に現実的な問題を解決する実践的有効性が求められて注目された手法である。人々が日常生活を送る上で有用な実践的知識を生み出すことを目的とする。
4. 内容分析は、同一の対象に対して一定の間隔を置いて複数の時点でデータを集め、複数の観測値を得る手法である。時間経過による変化を直接捉えられるという利点がある。
5. パネル調査は、マスメディアが発する情報やメッセージの特性を体系的、客観的に分析する手法である。その手法はメッセージ内容の数量的な処理を行うものと、その処理を行わず意味解釈を専ら行うものに分けることができる。

〔 正答番号 〕 1 2 4 5

フリードマンらが行った実験に関する次の文中の  に入る用語はどれか。

実験者は、「交通安全の市民会」の者と称して戸別訪問を行い、「『気をつけて運転しましょう』と下手な字で書かれた巨大な看板を玄関先に1，2週間設置させてほしい」という大きな要請を行った。この要請のみを行う統制条件では，承諾率は16.7%であった。しかし，「『安全運転』と書かれた10センチ角のシールを窓か車に貼ってほしい」という小さな要請を行った後に，前述の大きな要請を行った条件では，承諾率は76.0%の高さであった。この結果が示す，人から承諾を引き出す技法を  ・テクニックという。

1. フット・イン・ザ・ドア
2. ドア・イン・ザ・フェイス
3. セルフ・ハンディキャッピング
4. リスキー・シフト
5. ローボール

〔正答番号〕 2 3 4 5